

1. 次の文を読んで後の問いに答えなさい。

冬、家庭で最も歓迎される料理は、なべ料理であろう。煮たて、焼きたてが食べられるからである。なべ料理では、決して煮ぎましを食べるといったことはない。クツクツと出来たての料理を食べることが、なによりの楽しみである。だから、なべ料理ほど新鮮さの感じられる料理はない。最初から最後まで、献立こんだてから煮て食べるところまで、ことごとく自分で工夫し、加減をしてやるのであるから、なにかもが生きているというわけである。材料は生きている。料理する者は緊張している。そして、出来たてのものを食べるというのだから、そこにはすきがないのである。それだけになんとということなく嬉しい。そして親しみもてる料理といえよう。

しかし、材料が鮮魚、鮮菜という活物いきものが入った上での話である。入れるものがくたびれていたのでは、充分のものはできない。これは、なべ料理にかぎらぬ話であるが、念のため申し添えておく。

家庭でやるなべ料理は、原料はこれとこれだけと、決っているわけではない。前の晩にもらった折詰おわづめものとか、買い置きゆばの湯葉ゆばだとか、麩ふだとか、こんにやくだとか、あるいは豆腐を使おうと、なんでも独創的に考案して、勝手にどんなふうにもやれるのである。「なべ料理」のことを、東京では「寄せなべ」というが、\*1上方かみがたでは「楽しみなべ」ともいつている。なぜ、「楽しみなべ」というかといえは、

①

(

「楽しみなべ」という名称は、実によくあてはまっている。しかし、「寄せなべ」というのは、なんだか簡単すぎて感じのよい名前ではないと思う。「なべ料理」は先にもいつた通り、材料がいろいろあるし、それを盛る盛り方にもなかなか工夫があるのである。この点に注意しないで、\*2ぞんざいに扱あつかうと、いかにも\*3屑物くずものの寄せ集めみたいになってしまう。

『鍋料理の話』 北大路 魯山人 より一部抜粋 青空文庫より

- \*1 上方(かみがた) 関西地方のこと
- \*2 ぞんざい いいかげん
- \*3 屑物(くずもの) ごみとなるもの。



(1) ( ) の部分に文を入れます。前後の文章をよく読み文脈をとらえ、あなたがふさわしいと思う文を考え、書きなさい。

